

今月の  
ひとこと

「ワーク・ライフ・バランス」ということがよく言われます。私がどうしてもこの言葉にひっかかるのは、「ワーク」と「ライフ」が二者択一のような感じを受けるからです。もっと言えば「ワーク」は苦しい労働の時間、「ライフ」は自分らしさを満喫できる楽しい時間というイメージを受けてしまいます。本当は「ワーク」だって「ライフ」の一部です。本ここで時間を使うかという意味では「ワーク・ホーム・バランス」というべきでしょう。「ワーク」も「ホーム」も「ライフ」の一部ですから。つまり、会社のためと自分のために生きる場所の違いだということです。

しかし、これも最近のテレワークの普及で変わってきている気がします。テレワーク環境下では完全ではないにしろ、場所は「ホーム」が大きな比重を占めるのです。そうすると「ホーム」で何をするのかという時間の使い方が問題となります。結局、それは「仕事とは何か」という問題に突き当たることとなります。

「仕事」とは「仕える事」です。仕えるというのは自分より上位のものに奉仕すること。我々にとって一番上位にあるのは「世の中」です。つまり、「仕事」とは「世の中に奉仕すること」、それが「仕事」です。そう考えると本来の「ワーク・ライフ・バランス」というのは「自利・利他・バランス」ということになりそうです。コロナ問題により生活スタイルが変化するなかで、我々は時間の使い方、つまり、生き方そのものを考え直すチャンスを与えてくれているような気がします。

+++++

「FIWAみんなのお金トーク」クラブハウスでやってます！

FIWA (みんなのお金のアドバイザー協会) は金融商品を売らないお金のアドバイザーが集うNPOです。持ち回りでスピーカーになり、忸度なく本音でお金のことを話します。毎週火曜木曜の12時20分から (NHK正午のニュースのあと)。ご質問もFIWAのHPでうけつけています！

+++++

FACEBOOK上で3700人以上のクラブ・インベストライフの仲間が参加し、活発な議論をしています。投資未経験者の方の質問や疑問も大歓迎です。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください。(FACEBOOKに継続的に投稿を行っている方に限定させていただきます)

特別講演会 「若者のためのお金、仕事、投資、生き方の話」 (動画)

澤上篤人 (長期投資家、慈善事業家) 三和裕美子 (大学教授) 岡本和久 (投資教育家、ファイナンシャル・ヒーラー(R))



2021年12月17日にオンラインで開催された学生向けの講演会の動画を二回に分けてお届けします。

話題提供 岡本 和久

「ヤングアダルトのための仕事、投資、生き方」

Q&A Part 1

澤上 篤人氏 (長期投資家、慈善事業家)

三和 裕美子氏 (大学教授)

岡本和久 (投資教育家、ファイナンシャル・ヒーラー(R))

質疑応答

- ESG、SDGsブームをどう思うか
- 「世の中の為に」という企業経営は少し前には受け入れられなかったのでしょうか
- プロとの出会いが大切とのことですがどこで本物のプロと出会えますか後半は次号につづく

動画リンクはこちら↓

[「若者のためのお金、仕事、投資、生き方の話」\(前半\)](#)

クラブ・インベストライフとは？

人生を通じての長期投資は孤独な長旅です。この長旅に耐え、大きな喜びを得るには、資産運用を行うための基礎となる知識と孤独な旅を支えあう仲間が必要です。「将来の自分は今の自分が支える」ほかない時代、クラブ・インベストライフの活動は、豊かで幸せな人生のための投資を目指しています。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほか、FACEBOOKやTwitter上で議論の場を提供し、各地でのセミナーを開催しています。

まったく投資の経験のない方も多数、参加しておられます。大手金融機関から完全に独立しているので、特定の商品をお勧めすることも販売することも一切ありません。

<FACEBOOK、TWITTERへの  
投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿はご遠慮ください
2. 発言はあくまで個人としてのものとしてください
3. 企業広告はご遠慮ください

I-Oウェルス・アドバイザーズ  
のメール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールアドレス宛に、空メールを送信下さい。購読は無料です。

[mag@i-owa.com](mailto:mag@i-owa.com)

毎月15日配信 無料

Facebook

Facebook上のグループ、  
クラブインベストライフ  
<http://www.facebook.com/groups/investlife/>

Facebookへの登録が必要です。リクエストボタンを押して入会申し込みをしてください。

[Facebookへはこちらをクリック](#)

Twitter上のグループ  
クラブインベストライフ  
[http://twitter.com/c\\_investlife](http://twitter.com/c_investlife)

Twitterへの登録が必要です

[@c\\_investlifeさんをフォロー](#)

I-OWAマンスリー・セミナー講演より マプリンに聞く、「どうなる経済、金融市場」

講師：馬淵 治好氏 レポーター：赤堀 薫里

馬淵 | コロナ後のいろいろな話について、実は2020年11月の下旬に出した本の一番最後の章で、こうだという結論はださずに色々な論点をあげました。まず金融から行くと、特にマーケット参加者はせっかちなので、「ずっと緩和が続くのか、あっという間に資金量の縮小に向かうのか」みたいな議

バックナンバー | 一覧

- [2021年02月02日発行 Vol.218](#)
- [2021年01月03日発行 Vol.217](#)
- [2020年12月05日発行 Vol.216](#)
- [2020年11月15日発行 Vol.215](#)
- [2020年10月04日発行 Vol.214](#)
- [2020年09月15日発行 Vol.213](#)



論になってしまいます。出口になるといきなり債券を売りまくって資金を吸収しまくるみたいなことをいう人がいます。しかし、車を後ろに下げるとしても、だんだんスピードを落として停止して、しばらくたった後、バックするみたいな形になると思います。

[読んでみる](#)

ウェブ化以前のバックナンバー

2012年12月までに発行されたインベストライフをご購入いただけます。

[購入・詳細](#)

## I-OWAマンスリー・セミナー講演より 長期投資成功の秘訣はアジア的感性にあり

講演：岡本 和久 レポーター：赤堀 薫里



私はショートターミズム的な傾向を是正していく上で、有効なのがアジア的感性、アジアに伝統的にある考え方、ものの見方ではないかなと思っています。今回はそのような視点から、インド、中国、日本の特徴や共通点を含めてお話をしていきます。

[読んでみる](#)

## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸氏



★50年前、フランスの牡蠣の危機を日本が救った ★ルイ16世とロベスピエールの因縁 ★九十九里浜 ★月並み ★広島市が首都になったことがある ★四角いオリンピックメダル

[読んでみる](#)

## FIWA(R)代表理事リレー投稿 「気になるあの、あのこと、ひとこと話Vol.3」

寄稿：FIWA(R)協会 副理事長 岩城 みずほCFP(R)

小さく始めて夢をかなえる!

「女性ひとり起業」スタートBOOK

小谷晴美

この一冊で、家庭も仕事もうまくいく! 扶養内から起業する方法

【オリジナル】エクセルシート「神・帳簿」  
無料ダウンロード付き

女性の起業の悩み・不安を徹底的に解消!

「気になるあの、あのこと、ひとこと話」、今回は、『小さく始めて夢をかなえる「女性ひとり起業」スタートBOOK』（株式会社コミックス出版）を上梓されたしなやかライフ研究所代表CFP® 小谷晴美さんのお話です。小谷さんはFIWA(R)認定アドバイザーでもあります。

[読んでみる](#)

## インベストライフ・アーカイブより 「貯徳旦那道」から学ぶ 生き方と投資のあり方（インベストライフ2008年4月号より）

対談 竹田 和平氏。岡本 和久



日本一の個人投資家、竹田和平氏。百社以上の上場企業の大株主になっている方だ。今回、澤上篤人氏のご紹介で面会がかなった。小雨降るなか、壮大にしてすっきりと心持ちよい竹田本社にお邪魔する。「どんな方だろう、どんな対談ができるだろう」。緊張感とワクワク感を交えて門をくぐる。館へ足を踏み入ると、職員の方々とともに竹田和平さんが温かい握手でのお出迎え。作務衣姿の氏の温かいオーラに包まれつつ、対談は始まった。（竹田和平氏は2016年7月21日に逝去されました。多くの教えをいただいたことに感謝するとともにご冥福を祈っています）

[読んでみる](#)

## 基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

2月は4資産成長型が1.54%、2資産成長型が1.73%のパフォーマンスでした。世界各地のパフォーマンスは <https://www.ibbots on.co.jp/market/> でご覧いただけます。

[読んでみる](#)

## 投信データ・ウォッチ

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

今回は直販ファンドの運用状況をリストアップしていただきました。さわかみファンド、セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド、セゾン資産形成の達人ファンド、ひふみ投信、結い2101など純資産額で上位を占めました。

[読んでみる](#)

## I-OWAたより

### 岡本和久のI-OWA日記

★伝説の外資系企業経営者、新将命氏の講演会 ★もうすぐ春ですね！ ★鼻笛って知っていますか？ ★FIWAマンスリー・セミナーが開催されました

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

### セミナー案内

2021/3/21 # 186マンスリー・セミナー

開催形式 OL (Zoom使用)

開催日時 2021年3月21日(日) 12:30~16:00

講演・講師 ●岡本 和久：「日本株式市場史(戦後編)」

●鎌倉投信 社長 鎌田 恭幸氏：「豊かな投資で人生をひらこう~変化の時代を貫く投資の土台をつくる~」

●質疑応答、フリーディスカッション

備考 お申込み：受付中

<https://happymoney.stores.jp/>

2021/4/18 # 187マンスリー・セミナー

開催形式 OL (Zoom使用)

開催日時 2021年4月18日(日) 12:30~16:00

講演・講師

●岡本 和久：「お客のヨットはどこにある? ~証券市場不都合な真実」

●経済評論家、久留米大学商学部教授 塚崎 公義氏「アドバイザーとして知っておきたい脳の錯覚の怖さ」

●質疑応答、フリーディスカッション

備考 お申込み：2021年3月23日以降受付

<https://happymoney.stores.jp/>

サムライズ勉強会

開催日 2021年5月7日(金) 開催時間 19:00~21:00

開催形式 OL (Zoom使用)

講演 人生のお金はどう考える? ~「長く働いて受け取れる公的年金をなるべく増やす」と「自助努力で資産形成をする」を両輪で~

講師 厚生労働省職業安定局雇用保険課 入屋 翔伍 氏

金融庁総合政策局総合政策課 塚本 俊太郎 氏

モデレーター: FIWA副理事長 岩城 みずほ CFP(R)

受講料 一律 1,100円(消費税込み) 学生は無料

備考 主催: NPO法人みんなのお金のアドバイザー協会

お申込先: <https://somerise.net/2021/03/05/1242/>

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

## 特別講演会 「若者のためのお金、仕事、投資、生き方の話」 (動画)

澤上篤人 (長期投資家、慈善事業家) 三和裕美子 (大学教授) 岡本和久 (投資教育家、ファイナンシャル・ヒーラー(R))



2021年12月17日にオンラインで開催された学生向けの講演会の動画を二回に分けてお届けします。

話題提供 岡本 和久

「ヤングアダルトのための仕事、投資、生き方」

Q&A Part 1

澤上 篤人氏 (長期投資家、慈善事業家)

三和 裕美子氏 (大学教授)

岡本和久 (投資教育家、ファイナンシャル・ヒーラー(R))

質疑応答

- ESG、SDGsブームをどう思うか
- 「世の中の為に」という企業経営は少し前には受け入れられなかったのでしょうか
- プロとの出会いが大切とのことですがどこで本物のプロと出会えますか後半は次号につづく

動画リンクはこちら↓

[「若者のためのお金、仕事、投資、生き方の話」\(前半\)](#)



## FIWA®マンスリー・セミナー講演より マブリンに聞く、「どうなる経済、金融市場」

講師：馬淵 治好氏  
レポーター：赤堀 薫里

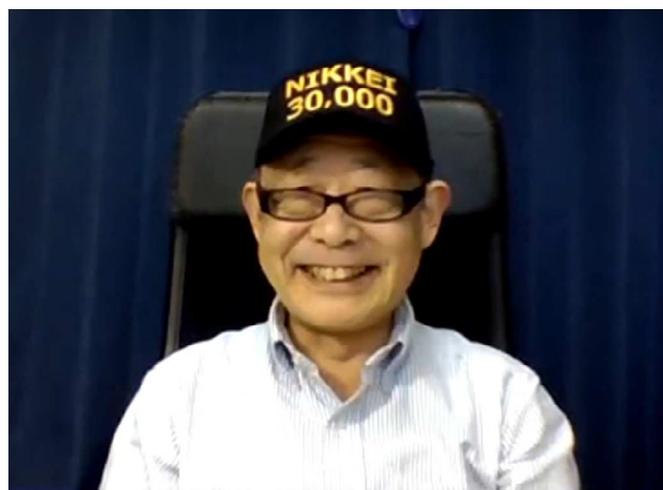
この対談は2021年1月17日に開催されたFIWA®マンスリー・セミナーにおいて馬淵さんの講演に続き行われた質疑応答をまとめたものです。

岡本 | ゴルディロックスからの脱却が2021、2022年と、いろいろあるでしょう。もう一つの大きな経済的な要素として、コロナの収束がいつになるのか。これはわからないのですが、収束したときにどのようなインパクトがあるのか。一つは経済面というか、金融面です。これだけ金融をジャブジャブにしている、この収束をどう図っていくのか。それはマーケットにも相当大きな影響があると思います。

もう一つは、コロナが収束しても我々の生活スタイルは2018年には戻らないだろうということです。我々よく考えてみると、すごく無駄なことをたくさんやっていた部分がありました。それをコロナ君が教えてくれました。もっと合理的に簡単にできることを、今コロナに突き付けられた我々の生活の中で実感してきています。今日もZOOMで皆さんとお話しているわけです。

もちろん実際に会っているのとは違いますが、かなりの程度、それをカバーするように我々自身の感性が慣れてきていると思います。それが昔あった余剰な需要というものを、相当縮小していく部分があるのではないのかという側面です。要するに、一つは金融面ではコロナ収束でどうなっていくのか。もう一つは、収束したときの生活スタイルという二つの点でコメントを頂きたいです。

馬淵 | コロナ後のいろいろな話について、実は2020年11月の下旬に出した本の最後の章で、こうだという結論は出さずにいろいろな論点をあげました。まず





## FIWA®通信「インベストラ이프」

金融からいくと、特にマーケット参加者はせっかちなので、「ずっと緩和が続くのか、あつという間に資金量の縮小に向かうのか」みたいな議論になってしまいます。出口になるといきなり債券を売りまくって資金を吸収しまくるみたいなことを言う人がいます。しかし、車を後ろに下げるとしても、だんだんスピードを落として停止して、しばらくたった後、バックするみたいな形になると思います。

例えば現状以上に資金供給を増やさないということが先ず起って、だんだん供給量を減らしていき、供給量がゼロになった後は、資金の吸い上げを始めるという形に移行するという事です。止めた途端いきなりお金を吸上げるということではないと思います。かなり慎重にやると思います。中央銀行としては、ショックができるだけ起らないように、ゆっくり、ゆっくり出てくるというかたちをとりますから、全体論としては、それほど大きなショックは起こらないだろうと考えています。

それはあくまでも全体論であって、産業、企業、国によっては厳しいところもあるでしょう。マーケットは思惑で走ってしまうことがあります。だんだん止めていくことを打ち出しても、特に米国の長期債のマーケットは速く走りすぎてしまい、まだ出口から指一本出したくらいなのに、「やめるんだ！」と、長期金利が勝手に走るとかね。そういう混乱が生じる恐れはあります。だから2022年を中心とした出口をめぐる動向は、思惑先行で混乱が起るかなというイメージは持っています。ただ時間をかければ、それはこなれてくると思うので、何年もそれでおかしいことが起こるわけではないと思っています。

参加者 | 世界経済の米国と米国以外の国の成長力とインフレについてお伺いしたいです。一つ目は米国が成長していくであろうということは私も同じように思いますが、米国以外の国、一般的にはヨーロッパや中国とかアジア、中東があると思いますが、それらの国は米国と比べると国の制度や投資をする上でのリスクはどうなのかなと迷っています。

もつという、今、全世界株式のファンドを持っていますが、いろいろ見てみると、全世界株式よりは、S&P500の方が積立投資をしていても、パフォーマンスはいいのかなということを最近思っています。その辺り、馬淵さんのご見解をお伺いしたいというのが1点。

もう1点はインフレです。今はコロナですから、当面ないとは思いますが、やむを得ないのですが、これだけどんどん財政が膨らんでいる中で、その後の対処策が全然出てきていません。将来の子どもたちの世代、あと5年、10年、20年たった時に今のままでいいのか？というところが心配です。そのあたりの馬淵さんの見解をお聞かせください。

馬淵 | 先進国の中で米国が一番成長力は高いと思います。これは、マクロ的な話というよりは、日本の経営などを批判した裏返して、米国はダイナミズムがとてもある国だと思います。ベンチャー企業が創業されて、潰れる企業もあるけれど、潰れた人はまたやり直す。ベンチャーの中から将来のアマゾンやアップルとかフェイスブックのような企業が出てくるという裏には社会的文化的な背景もあると思います。



## FIWA®通信「インベストラيف」

そういう経済のダイナミズムの点でいくと、やはり一番米国が優れているかなと思います。優れているというのは経済の成長力とか、株価の上昇力という点です。それが例えば格差の拡大を生むのではないとか、いろいろありますけど、単なる経済成長や企業収益成長力、株価成長では、先進国では米国。ヨーロッパとか日本は上回ってほしいですけど、日欧よりは米国のほうが成長力は高いのかなと思います。

全体感でいくと、新興国のほうが成長力は高いと思っています。背景では、人口の増加、所得水準が上がり、貧困層から中間層へ上がってくる人たちが出てくるので購買力が高まるということも言われています。だから全体論で長期的に言うと、経済成長という点だと新興国だと思いますし、IT技術の発達が新興国の成長を助けるところがあります。

BOP ビジネス(ボトムオブピラミッドのビジネス)とITの相性が結構いいです。アフリカだと暑いし、エアコンを使いたいけど、エアコンを買うお金がないし、1日エアコンを使うお金もない。そこでダイキンなどがアフリカでやっていますが、エアコンを無料で設置してあげて使用料をとる。時間あたりいくらというかたちで使えます。1日の中で一番暑い2~3時間分だけなら払えるという、貧困層と中間層の中間みたいなところが買ってくれると思います。だから隙間消費って、自分の好きな時に好きなだけ使うことが隙間消費ですが、お金がないので、使える分だけ使うというのも隙間消費です。エアコンのシステムをITで課金しています。

他に電力を携帯と結びつけて、携帯で使いたい分だけを課金して電力を使うというのがインドで広がっています。そういうIT技術の進歩も新興国の経済成長を助けると思います。新興国の中で、僕は東南アジアがキャッチアップしてくると思うし伸びると思っています。中国は大きくなりすぎてしまい、成長力という点では、ここから衰えてくるかなというのと、やはりいろいろな意味で米国と中国の対立は続くと思います。政治的なリスクが高いので、中国経済がマクロに成長するのかどうかというのと、中国に投資をするのかどうかというのは、別のことだと感じています。中国への投資は、あまりにも政治的なリスクが高すぎるのでリコメンドしないけど、経済成長は鈍化しながらもある程度伸びるのかなという見方をしています。

インフレについては、今、非常にデフレ的な状況です。その背景には技術進歩があります。特にITは技術進歩で生産性が上がるとすごく単価が下がります。世界的なグローバルな競争はずっと続いている。一番コストが安いところに、世界競争で採用されるという構造は変わらないため、そんなにインフレにはなりにくい。

インフレになるとしたら、なにかの要因で原材料コストが上がってしまう。例えば中東で大規模な紛争が起こり、エネルギー価格が跳ね上がって強制的にコストが上がり、それでインフレにならざるを得ないということだったら別です。しかし、そういうことがない限りは、インフレになりにくい土壌になっています。

その一方で、今の財政のばらまきをどうするかというと、これも出口の一つになってくると思います。急に締めるわけではなく、もう景気大丈夫だから、一気に増税だよなということにはならない。景気との見合いでそろそろと景気対策的な歳出を抑えながら、なんらか



## FIWA®通信「インベストラ이프」

の形でファイナンスをする方法を見つける。一番理想のかたちは、景気が持ち直して、税率を上げないで自然税収が増えることが一番痛みは少ない。そんなかたちで時間をかけて、少しずつ財政赤字の膨張を押さえていくというようになるのではないかなと。だから僕は財政破綻論について、先進国レベルでは信じていません。

岡本 | 今日は、みんなが疑問に思っていることを明快に説明していただきました。馬淵さん、どうも本当にありがとうございました。



## FIWA®マンスリー・セミナー講演より 長期投資成功の秘訣はアジア的感性にあり

講演： 岡本 和久

レポーター： 赤堀 薫里

ファイナンシャル・ヒーリング講座では、「理論」「運用方法」「歴史」「お金と心」の四つの柱に分けてお話をしています。その中でお金と心の問題、心構えは、非常にシンプルなことを長く続けていくうえで最も必要なことです。その中で、アジア的感性、我々アジア人として持っている本質的なものが、実は長期投資に非常に合っているということをお話します。

本来、資産運用は投資期間が非常に長いはずなのに、それがどんどん短くなってきている。できるだけ早く、できるだけたくさん儲けたいという人が増えてきています。その背景として、企業が収益をできるだけ早く、たくさん上げたいという企業サイドの行動の変化もあるのでしょうか。トップも早く大きな利益を出して、大きな成果報酬をもらい、できるだけ早く辞めたいという風潮があります。最近 ESG 投資と言われるようになってきましたが、このような風潮に対する反省があるのではないかと思っています。



私はショートターミズム的な傾向を是正していく上で、有効なのがアジア的感性、アジアに伝統的にある考え方、ものの見方ではないかなと思っています。今回はそのような視点から、インド、中国、日本の特徴や共通点を含めてお話をしていきます。

現代人の多くは、意識が「今の自分」という小さな箱に入ってしまったている。もっと空間軸や時間軸を伸ばして意識を広げていくことが大切です。意識の広がりを目指しているという点が、アジア的感性として共通ではないかと思っています。

江戸豪商の経営思想を考えてみましょう。奉公意識、分限意識、体面意識などがあります。体面とは信用。分限は、自分が社会に対して貢献した「分」を限度として得る。それ以上望んではいけない。ご奉公とは、世のため、人のため、お客さまのための活動をするということです。これらを実現





## FIWA®通信「インベストラ이프」

する方法として才覚、算用、始末ということが言われました。才覚はイノベーション。算用は企業経営、経理なども含め数字による管理ですね。始末とは、始めと終わりですから、プロジェクト・マネジメント。つまり、経営とプロジェクト・マネジメントとイノベーション、この三つが必要なのです。

少しずつゆっくり着実に稼ぐ。これは、江戸時代の初期の淀屋の華美にすぎた行動により、お家が取り潰しになったことが教訓になっているのでしょうか。あまり目立たないように着実に稼ぐ。近江商人の売り手よし、買い手よし、世間よしという三方よしはよく知られています。井原西鶴は日本永代蔵という本を書いています。永代とは時間的な制約がないという意味です。そして、モノとお金をつないでいるものとして心が重視されています。和風の企業経営が、実は和風の資産運用と結びついて、これが健全な資本主義モデルになっていくのではないかと私は思っています。

「和」には多様なものを加えるという意味と、それらが調和するという二つの意味があります。これはポートフォリオと上手くフィットします。和風のポートフォリオはダイバーシティー、分散を十分に行い、ハーモニー、全体としてのリスクとリターンの調和を目指す。永代は長期。知足というのは「足るを知る」わけですから市場リターンで満足するというインデックス運用。積小為大は二宮尊徳先生の言葉ですけど、小さく積んで大を為す。まさに積立投資です。もったいないはコストに注意する。おかげさまの心で我々の生活を支えてくれている全ての世界中の企業に感謝を込めて投資をするということになります。

講演ではブッタの財産三分法や老荘思想と投資の心構えなどのお話がありました。日本ではなかなか本格的な投資が根付かないと言われていました。戦後日本に、欧米的な投資理論や手法が導入されてきました。しかし、本来は、日本人やアジア人が持っている感性を活かした投資の方法を多くの人に知ってもらえば、欧米とは違った形になるかもしれないと思います。

アジア的感性と投資。あまり関係がないように思うかもしれませんが、私は、むしろ関係がないと思っているところに我々の幻想があり、実は非常に関係していると思います。これからは、世界の人々にも、アジア的な感性での投資というものをもっと知ってもらいたいと思っています。



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



### 50 年前、フランスの牡蠣の危機を日本が救った

牡蠣はフランス料理では欠かせない食材だ。そんな牡蠣が 1960 年代の終わりから 1970 年にかけて、寄生虫などの病気により絶滅の危機に陥った。

その時、フランスの牡蠣のピンチを救ったのが日本だ。1970 年牡蠣が絶滅の危機にあったフランスへ宮城県が牡蠣の稚貝を輸出・移植したことで、フランスの牡蠣の生産が回復した。日本の牡蠣は生命力が強く、フランスにおける牡蠣の病気にも打ち勝つ力を持っていた。それ以来、フランスで流通する牡蠣の相当部分は日本由来の牡蠣になったという。

また、2011 年東日本大震災によって宮城県の牡蠣養殖施設が壊滅状態に陥った時には、フランスの牡蠣養殖業者たちがかつて日本に助けてもらった恩返しとして、養殖施設の復旧を支援したという。

### ルイ 16 世とロベスピエールの因縁

1775 年フランス国王ルイ 16 世と王妃マリー・アントワネットは、リセ・ルイ＝ル＝グラン(ルイ大王学院)を訪問した。学院では学生から選ばれた代表が、ラテン語で詩を朗読しルイ 16 世の戴冠のお祝いと歓迎の意を表した。このとき選ばれたのがロベスピエールで当時 17 歳の学生だった。ロ





## FIWA®通信「インベストラ이프」

ベスピエールは健気にも国王へ尊敬の念をこめて詩を読みあげた。国王は着飾った姿で馬車に乗ったまま、儀礼的に詩を聞いていた。

それから17年後、フランス革命の真ただ中、ルイ16世は国民の敵として裁判を受けることになった。そして、ルイ16世に対して死刑を求刑したのが革命の指導者ロベスピエールだった。国王の前で詩を朗読したあの少年だ。ロベスピエールは国民の英雄となり、国王は死刑を宣告された。ロベスピエールと死刑を宣告された国王、二人の立場は大きく逆転していたのである。

(追記)国王処刑後、ロベスピエールはジロンド派を肅清、恐怖政治を導入するも、1794年テルミドール9日のクーデターによって処刑される(36歳)

### 九十九里浜

九十九里浜は千葉県東部の刑部岬から太東崎に及ぶ日本最大級の砂浜海岸。日本の渚百選に選定されている。しかし、実際の距離は17里余である。なぜ九十九里浜と呼ばれているのだろうか。

平安末期の1180年、石橋山の合戦に敗れ房総半島に逃れた源頼朝は、家臣に命じて太東岬から1里ごとに矢を立てさせた。そして99本目で刑部岬に達したという言い伝えから「九十九里浜」といわれるようになったのである。1里は約3.9kmなので、約66kmになる。



### 月並み

「月並み」は、元々「毎月決まって行うこと」を示す言葉で、そこから和歌や俳句などの毎月の例会を「月並みの会」と言うようになった。

この「月並み」が平凡でつまらないことを意味するようになったのは、俳句を革新した正岡子規が旧態依然としたそれまでの俳句を「月並み俳諧」と批判したことからだ。

俳句の毎月の例会(月並み)は、俗受けをねらったものや言回しの工夫が多く、感動の少ない平凡な作品ばかりとする正岡子規の指摘が現在の意味につながり、ごく平凡なことを意味するように



なったのである。さらに、子規は松尾芭蕉の詩情を高く評価する一方、江戸期の文献を調べ与謝蕪村のように忘れられていた俳人を発掘している。明治 35 年没(享年 34)。

### 広島市が首都になったことがある

大本営は明治 26 年 5 月大本営条例によって法制化された制度だが、これが初めて設置されたのは明治 27 年 6 月だった。同年 8 月に日清戦争が始まったことから 9 月に大本営は宮中から広島市に移転した(戦争指揮のため、明治天皇が移られた)。これは東京を起点とする鉄道網の西端が広島であったこと、また大型船が運用できる港も広島(当時は宇品港)にあったためだ。

明治天皇は下関条約調印後の明治 28 年 5 月末まで広島で指揮を執った後、東京に還幸した。これによって広島市は明治 27 年 9 月から翌年 5 月までの 9 か月間、臨時首都機能を担ったのである。これは明治維新以降、首都機能が東京から離れた唯一の事例である。

### 四角いオリンピックメダル

オリンピックメダルといえば丸い形のメダルを思い浮かべるが、過去には四角い形をしたメダルもあった。

それは、1900 年(明治 33 年)にパリで開催された第 2 回オリンピックで、そのパリオリンピックのメダルは丸い形ではなく写真のように四角い形をしていた。四角いメダルは今までにこの大会だけである。なお、この大会の参加国は 13、参加人数は 1225 人だった。

また、この年はパリで 5 回目となる国際博覧会が開催されている。この万博には日本も出展しており、日本のメインパビリオンでは大規模な展示が行われ、日本が海外において美術品を大規模に展示するのは初めてのことだった。





## FIWA®代表理事リレー投稿 「気になるあの人、あのこと、ひとこと話 Vol.3」



寄稿: FIWA®協会  
副理事長 岩城 みずほ

みなさまいかがお過ごしでしょうか。

巷で話題になっている「Clubhouse」を始められた方はいらっしゃいますか？

実は FIWA®のアドバイザーが、毎週火曜と木曜日の午後 0 時 20 分(NHK 正午のニュースの後スタート)から 10 分間持ち回りでスピーカーになり、【FIWA®みんなのお金トーク】と題してトークルームでおしゃべりしています。ご質問も受け付けていますので、ぜひ、遊びにきてください。

さて、「気になるあの人、あのこと、ひとこと話」、今回は、『小さく始めて夢をかなえる「女性ひとり起業」スタート BOOK』(株式会社コミックス出版)を上梓されたしなやかライフ研究所代表 CFP® 小谷晴美さんのお話です。小谷さんは FIWA®認定アドバイザーでもあります。

「好きなことや得意なことで人の役に立ちたい」  
「自分らしさや能力を発揮して、生き生きと活躍したい」。  
そんな夢をもっている女性は増えているようです。

女性のスモールスタートのスタートアップ、「プチ起業」は、人生のその時々々のライフスタイルに合わせて働けることが魅力のようです。クチコミでご著書のファンが増え続けているそうですが、小谷さんは、そんな女性たちを、お金の知識でサポートしたいという思いからこの本を書かれました。

この本では、起業成功の鍵になる自分分析、起業のネタ探しからマーケティング手法、ライフプランの描き方まで学ぶことができます。





## FIWA®通信「インベストラ이프」

さらに起業にかかる手続きやお金について、社会保険との関係、税金、帳簿のつけ方まで(しかもエクセルでダウンロードできます！)、とにかく痒いところに手の届く細やかな気配りに満ちていてたくさんの気づきを得られます。私も12年前(スタートアップの時)読みたかった！と思わず呟いてしまいました。

プチ起業家さん向けミニセミナーを5年間にわたり30回くらい開催してこられた小谷さんだからこのきめ細かで実務的な内容で、トラブルを起こさないために気をつけることや起業女子の悩みまで、至れり尽くせりの一冊となっています。

女性は、日常生活の中で、「女性ならではの視点」で持ってアイデアを生み出したりすることが得意のように思います。でも、それをいざビジネスにしていこうとするとなかなか難しいのが現実です。でも、なるほど、プチ起業なら一歩を踏み出しやすいかもしれません。

小谷さんは、「お勤めの人に正社員とパートがいるように、個人で仕事をする人にも正社員的な働き方とパート的な働き方があります。そこで、前者の正社員的な個人事業を「起業」と呼ぶのに対し、後者のパート的なゆるい個人事業を『しなやか起業』と名付けています」と定義されています。

本には、さまざまな女性のプチ起業家さんが紹介されています。自分のペースで好きなことを仕事にした人、お客様の小さなニーズに合わせてさまざまなサービスを提供する人など魅力的な方々です。

女性は、結婚、出産、育児で人生を変えざるを得ない場合があります。少子化対策で女性が仕事を続けるための制度も整ってきましたが、女性の労働力率は、結婚出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するいわゆるM字カーブを描くことが知られています。近年、M字の谷が浅くなっているのは喜ばしいことです。

小谷さんは、「出産育児を中心にする時期があってもいい。その時に一番大切なことをやればいい」といいます。小谷さん自身も、出産育児で社会と切り離されたような感覚になったことが辛かったそうです。自分の能力をいかして仕事ができなくなるのではないかという焦りを感じたそうです。

プチ起業という形で、自分のペースで好きなことが仕事になれば、社会との繋がりを見失うことなく、自尊心も保たれるような気がしますね。社会の役になっている、必要とされている、喜んでくれるお客様がいる。そんな実感は心を、そして人生を豊かにしてくれるでしょう。

「家庭に軸足を置きながら社会参加したい」

「定年後に社会に貢献したい」

「会社に勤めながら自分らしさを発揮できる場をもちたい」



## FIWA®通信「インベストラ이프」

そんな思いも、小さく始める「しなやか起業」で実現できそうです。働き方が多様化する中、今後、女性以外にも広がりそうです。

小谷さんは、現在、「家庭のファイナンシャル・プランナー養成講座」を ZOOM で開催されているようですが、自分自身でお金について判断ができる人を増やすのがこれからの目標であり、夢だそうです。

小谷さんとお話させていただき、同じ FIWA® 認定アドバイザーとして私も頑張ろう！と改めて思いました。ありがとうございました。



しなやかライフ研究所 小谷晴美さん

熊本県生まれ。国立大阪教育大学卒。前職では中小企業診断士として主に商業・サービス業の経営指導、研修講師を務める。

夫の独立開業を機に税金や社会保険、金融商品に関する知識の必要性を痛感し、2006 年ファイナンシャル・プランナー資格を取得。「暮らしのお金」と「起業のお金」の身近な相談役として、生活設計相談、研修やセミナーなど金融経済教育に従事。2020 年、FIWA® 認定正会員として認定される。個人事業主の妻として夫のサポートをした経験と子育てをしながら少しずつ仕事の幅を広げてきた経験から、主に女性の起業支援、個人事業主の生活設計支援に注力している。著書に『女性ひとり起業スタート BOOK』（コスミック出版）がある。



# 「貯徳旦那道」から学ぶ 生き方と投資のあり方

日本一の個人投資家、竹田和平さん。百社以上の上場企業の大株主になっている方だ。今回、澤上さんのご紹介で面会がなかった。小雨降るなか、壮大にしてすっきりと心持ちよい竹田本社にお邪魔する。「どんな方だろう、どんな対談ができるだろう」。緊張感とワクワク感を交えて門をくぐる。館へ足を踏み入れると、職員の方々とともに竹田和平さんが温かい握手でのお出迎え。作務衣姿の氏の温かいオーラに包まれつつ、対談は始まった。



## 【竹田和平氏プロフィール】

▶1933年、名古屋で菓子業を営む大家族の一員として生まれる。幼児期は念仏信者の祖母の影響を受け、少年期には農業に参加するなど戦中戦後の厳しい変動を体験。青年期に菓子事業で「タケダのポーロ」「麦ふぁ〜」を発表し、壮年期には「わくわくボウル」「お菓子の城」を。そして百尊家宝、株式投資など事業家として活躍する。

## 人のため、将来のために お役に立つのが「投資」の姿

**岡本** 現在、澤上さんなどとともに日本に本格的な長期投資家をたくさん増やそうと、クラブ・インベストライフという活動を行っています。

個人投資家が経済的に自立し

て、さらに良いことのためにどんどんおカネを使い、そして豊かで幸せな人生を送ってもらいたい。そんなことの手助けができればと思っています。

**竹田** それは、ある意味、私がやろうとしていることと同じです。私はいま、「貯徳旦那道」というのを提唱しています。

投資家というのは経済自由人ですよね。自立している。そういう人が幸せになる。そして発展していく。私はそれを問答という形でやっています。みんなで意見を出し合って議論をしていく。私が一週間に一回、「貯徳旦那道とは如何？」というような題を出します。

実は、岡本さんの『瞑想でつかむ投資の成功法』という本を読ませていただきました。瞑想と投資というのは初めて聞いた言葉でしたが、それを読むと、私の目指しているところと同じだなと思いました。やはり、日本は徳のレベルを上げないといけない。モノばかり持っていて心が伴わないと、いつか破壊が起こってしまう。

**岡本** 物心一如という言葉がある

ように、モノに心を込めることが大切なのではないのでしょうか。また、おカネも心が一緒について回っているものです。貯徳というのは素晴らしい言葉ですね。

**竹田** 「器」ということがあります。器に水をもっと入れたければ器を大きくしなければならぬ。今生の人生とは、来世の人生を送るために器を大きくすることです。また、「天知る、地知る、我も知る」ともいいます。悪いことをすれば、それを一番わかっているのは自分であると。

昔はこういうことが普通にいわれていました。それが代々、伝えられて良い作用をしていた。今は核家族になったので、その継承ができなくなっている。みんな、今の人生がすべてだと思っている。来世も過去世もないと思っている。だから物事の見方が短視的になり、今さえよければいいと思っている。物理的にはそれでよくても、精神的にはみんな不安になっている。本当は、人間はどんなときも希望がなければ生きていけないのですよ。

**岡本** その通りですね。



**竹田** 私は20数年前から日本の歴史上の偉人を百尊として勉強してきました。それから自分が少しずつ方向転換してきたように思います。百尊を思うということも瞑想的なところがあります。

**岡本** 自分自身の枠をどれくらい広げられるか、自分の時空をどれくらい拡大できるかということですね。ですから、歴史上の人物に思いをはせると自分の枠も広がるのでしょうか。心が大きくなるというか。

**竹田** モノが充足してきたらそれしかない。

**岡本** 人のため、将来のためになることをするというのは、まさに投資ですね。

## 「貯徳問答講」と「ありがとう」

**竹田** そうです。短期的には感謝という形で返ってくる。これはおカネに替えがたい喜びです。

また、長期的に見てもすごく大

きな投資です。長期的なリターンは自分のところにくるのではなく、社会に還元される。教育などは良い例です。

私のやっている「貯徳問答講」というのは、徳を蓄えましょうというものです。それを問答の形でやるんです。

また、3年前から「ありがとう百万遍」という運動も実践しています。毎年、「ありがとう」を百万回唱える。これも瞑想と似ている。大自然のすべてに感謝する。空気があるから生きていられる。緑があるから、太陽があるから存在できる。こういう具合にすべてに「ありがとう」、「ありがとう」と感謝しまくろう。そうすることで自分自身を脱皮できる。

**岡本** 「ありがとう」と言うと相手が喜ぶ。相手が喜ぶと自分がうれしい。自分が喜ぶと、相手もまた喜ぶ。

**竹田** そう。瞑想の目的である「天とつながる」という感じが、「ありがとう」を唱えていると出てく

るんですよ。天とつながって「天命」ということを感じる。「これ天命だよ、これすごいよ、ワクワクだよ」と言いたくなる。ありがとうで自我を解放させているんでしょうね。解放することで、代わりに天が入ってくる。

岡本さんの本に「小さい意識は大きい意識に支配される」ということが書いてありましたが、まさにそういうことなんだなと思いました。大きい意識を持って何かをするとみんなが参加してくる。意識が小さいとみんな参加してこない。

**岡本** そうですね。

**竹田** 私は今、貯徳問答に講生という立場で参加していますが、問答を始めて1カ月ぐらいで参加している方が変わってきますね。運氣が上昇する、困難が解消する、そういうことが起こり出す。結局、困難は自分が引き寄せている。それを手放すと消える。そういうことが1カ月ぐらいでわかってくるんですね。

**岡本** みんな、人は良いことがあったからいい顔をしていると思っている。しかし、本当はいい顔をしているから良いことが寄ってくる。

**竹田** そう、そう。笑顔とありがとうができたら運は開けてきますね。グンとよくなる。まず、自分がありがとうと言うと、人さまが笑顔になる。そうすると自分も笑顔になる。笑顔になると何でもコミュニケーションできるようになる。そうすると楽しい。楽しいということは運が良くなるということですからね。みんな、楽しい人生が目標ですからね。

**岡本** いやー、本当にそうですね

ね。人生の目的は“しあわせ持ち”になることで、お金持ちになることではない。お金持ちになるのはその一つの過程ですからね。

**竹田** しあわせ持ち、それですね。おカネを稼ぐのは手段ですからね。おカネはとても便利な手段ですから。

日本は、500~600年前にはそれほどおカネは流通していなかった。では、そのころの人は不幸せだったかというところでもない。おカネができてモノは豊かになったけど、幸せになったかというところ、これまたそうでもない。結局、おカネは、幸せという観点からいけば中立なのかもしれない。ヘタをすると、おカネがあることによつて変な支配関係ができたりする。幸せ感を封鎖してしまうことがある。おカネは使う人によってきれいにも汚くもなりますね。

**岡本** しかし、一般におカネのイメージは汚い、お金持ちのイメージは悪い人ですね。

**竹田** どうしてそういう否定的なイメージなのでしょうね？

**岡本** 一つは日本の伝統的な考え方として「武士は食わねど高楊枝」とか、「清貧」という考え方があるからでしょうか。貧しくても清い人はいるでしょうが、でも、貧しければみな清いかというところとはいえない。

**竹田** そう、貧しいと借金をしたりして、大変な人も多いかもしれない。

**岡本** それから、テレビでよくある企業トップのお詫び会見。企業の不祥事は、だいたいおカネに関連したものが多いですよね。そうやって悪いイメージが作られてい

るのではないのでしょうか。これはマスコミの問題かもしれない。

### 世界を豊かにする第一歩は、おカネと友達になること

**竹田** そうですね。それは日本の損失ですよね。まだまだ、貧困のところがたくさんあるから、資本主義の力で世界を豊かにしていかなければいけない。

いずれはボランティア天国になるのですが、それまでは、やはり資本主義が続かざるを得ない。それなのに、おカネを嫌ったら、おカネにも嫌われてしまう。何でも嫌ったら嫌われるし、愛せば愛される。

**岡本** おカネと友達になればいい。

**竹田** あっ、はっ、は。「友達になる」はいいですね。何でも味方にしてしまえばいい。おカネは敵に回すとやっかいだから。

**岡本** 誰かと友達になりたかったら、その人に興味を持つ。だから、おカネと友達になるにはおカネに興味を持たなければならない。

**竹田** 人生は人間関係で幸せにも不幸せにもなる。同時におカネとも友達にならないといけない。おカネがないだけで信用がなくなったりするのは悲しいからね。

**岡本** やはり、おカネに心を込めるといふことが必要だということですね。

**竹田** 私は貯蓄問答講で「まごころ」ということをよく言います。まごころというのは天から分かれてできていて、誰でも生きている以上は持っているもの。

「自分」というけど、「自」は「自然」の「自」、それが「分かれた」

ものが自分。自然から分れたということは、われわれはみな自然、天と同質だということです。そこに重要なポイントがあるんだよ、とよく言っています。

自分のなかに天が入っている。天と自分とは同じ。ただ、役割を持って生きている。お釈迦様が「天上天下唯我独存」とおっしゃったけど、それはこの世でもあの世でも俺は俺だという意味ではないかと思うんです。だから「独尊」ではなく「独存」だと思うのです。自分以外に責任を取る人はいない。そこに気づくとまさにこの世は適材適所で、みんなが素晴らしい人生を送れる極楽になる。まあ、それまでにはまだ時間がかかるでしょうけれど。

**岡本** われわれ、ひとり一人の人間はたくさんの細胞でできています。その細胞の一つずつはちゃんと知性を持って、適材適所で役割を果たしている。

宇宙という大きな生命体のなかで、人間は一つの細胞です。そこでひとり一人の人間が適材適所でどのような役割を与えられているのかを自覚し、それを果たすことが使命なんでしょうね。

**竹田** 一人しかいない人間として、どのように役割を果たし、自分の器を大きくしていくか。

自分の器が大きくなることとは天の器が大きくなることです。天命を受けてこの世に生まれているのだから、それに対してお返しをしなければならぬ。命の源にご報恩しなければならぬ。

類の法則で人間は人間のなかだけで成長している、猿は猿、竹は竹で成長している。役割として自

分の類をどのように発展させるかという課題があります。人間でいえば、いかに人類を進化させるかということ。それが人間に課された天命。天命を果たすときはうれしい。天が喜びというご褒美をくれる。逆に天命に反することをするとときには苦しい。

**岡本** われわれのなかにある天からの声の受信機がしっかりしていないといけません。どのようにしたら感度がよくなるのでしょうか。

**竹田** 瞑想も、ありがとう百万遍もそうでしょう。美しい言葉に出合う、美しい心の友達、美しい環境、とにかく美しいものに囲まれる。類の法則で美しいものには美しいものが集まる。連日、私のところにも素晴らしい方がお見えになってくださる。不特定多数の人に働きかけて、経営で成功したり、ブログで成功したりする人はやはりバランスがとれている。インターネットの普及で、それがどんどん加速していますね。

**岡本** 人間の意識の拡大にインターネットは大きな役割を果たしていますね。

**竹田** これはもう、革命ですよ。産業革命以来の革命です。産業革命はモノの革命、インターネットは心の革命です。私はインターネットのことを「まごころルート」と呼んでいます。

**岡本** おカネと一緒に悪い使い方もあるけれど、良い使い方をすれば無限の可能性がある。

**竹田** 貯徳問答講のブログをお見せしましょうか？（ブログのプリントアウトを見ながら）これは60代の女性の方で、会社経営をしておられた。それを後進に譲られて、

「さあ、これから30年、何をしようか」と模索しているときに私の問答講に入られました。このような講生さんに対するメッセージを講師が書くのです。

現在、39講あり、それぞれ講生さんが24～25名います。この北海道の講師さんはたいへん活躍されている方で、なにしろメール数が2000以上ある。ということは、講生がそれを読んでいるということです。いいことを読んでいると、みんなピカピカになってしまうんですよ。また、それに対して返答をするでしょ。そうするといい言葉を出そうとしますよね。それが終わるとアンケート調査をする。

**岡本** 学期があるのですか？

**竹田** 2カ月間です。終わったらまた次の期も入れるんですよ。アンケートも非常に好意的で前向きなものが多いです。「役に立った」というのが99%もある。否定的な回答は1%程度でした。このアンケート結果を今日、全講生にメルマガを出したところです。

**岡本** ここに参加されている方は必ずしも投資をしている方とは限らないのですか？

**竹田** 違います。自分の人生をどのように豊かで楽しくするかということを考えている人々です。投資家もいます。それから経営者。経営者を目指す人が多いですね。自立している人、今から自立したい人。定年を迎えた人。

**岡本** やはり、定年を迎えて急にどうするか考えるより、それより前から自分の人生を考えておく必要があるのでしょうかね。

**竹田** そうですよ。世の中、どのように変わってきているかなどを

考えておかないと。勤めていたときと同じように世の中が動くと思っていると困ってしまう。あっちにぶつかり、こっちにぶつかりしてしまう。

**岡本** 私どものインベストラيفの活動は、まさにインベストメントとライフを考える会です。豊かで幸せな人生を送るために、どのように生きたらよいのか。そのなかで金融資産への投資をどう考えるか、長期投資のあり方、正しい資産運用の方法などの啓蒙活動をしています。

日本各地に自主的な勉強団体、「サロン・インベストラيف」が設立されて、みんなが集まって意見の交換会をしています。貯徳講とも少し似たところがありますね。

**竹田** そう、精神的な投資も大切だけど、経済的基盤も重要ですからね。ビジネスでもがんばっている人がたくさんいます。そういう人は目がきらきらしている。たとえば「君は赤ちゃんが大きくなったような人だなあ」などと言います。その彼の話を聞くとおじいちゃんにすごく憧れている。「おじいちゃんの生き方、最高！」と思っている。

**岡本** そういう憧れの対象があるということは重要ですよ。逆に言えば、ある程度の年になったら、次の世代に生きざまを見せてあげることが必要ですね。

**竹田** そうですね。気概ということが必要です。

塩野七生さんが書いていましたが、ローマ帝国を作ったシーザーという人は、彼のなかに歴史が凝結したような人だそうです。そう

いう人にみんなが吸い寄せられる。「知力、説得力、肉体耐久力、持続意思、自己制御がリーダーの資質である。国家の繁栄は個人のリーダーシップと気概である。

「歴史は時に一人の人物のなかに歴史を凝縮し、この人物の指し示した方向に向かうことを好む」と、述べておられる。シーザーは「多くの人は見たいと欲することしか見ない」と言っている。彼は部下が自分で思っていたこと以上のことまでやらせてしまう人だった。「えー、私ってこんなにできるの?」と思わせることのできる人だった。

**岡本** そういう憧れることのできる傑出した人物を目標として持つことは大切ですね。歴史上の人物でもいい。あんな人になりたい、という人物に出会えるのは素晴らしいことです。両親や先祖は言うに及ばず、歴史上の人物も今の自分の人格形成に影響を持っている。それを純化して、次の世代につないでいくのがわれわれの使命なのでしょうね。

**竹田** 私は50歳になった誕生日に離れの部屋に一日こもり、庭を見ながら過去を振り返り、これからのことを考えていました。ずーっと、過去を遡<sup>さかのぼ</sup>ってみたんですよ。自分が生まれてきたのは両親がいたからだ、その両親はどのように出会ったか、ずっと考えていた。

そのときにね、どのようにしてそうなったのかはわからないのだけれど、たまたま懐かしい存在が現れたんです。これはまさに自由自在、融通無礙<sup>むいげ</sup>の存在。とにかく、たまたま、懐かしい存在。こんな懐かしいものがあつたん

だ、これはたとえようがないなと思った。あえて言えば、小さいときに迷子になって、やっとお母さんが見つかったような……。形はない。もやっとしている。でもそういう存在があるのを感じて、神様や仏様はこういうところから出ているのかなと思いましたね。

**岡本** それは素晴らしい体験をされましたね。お話をお伺いして、白隠<sup>はくいん</sup>禪師の「闇の世に鳴かぬカラスの声聞けば 生まるる先の父ぞ恋しき」という句を思い出しました。

**竹田** それからいろいろなことがわかってきたんですよ。たとえば、葬式<sup>さうじ</sup>のとき、「帰命無量寿如来」と書いてあるでしょう。「ああ、あの永遠の世界に帰ることなんだ。それが向こうから来る、如来、来るが如しだから、やって来るんだ」と。それは不可思議。考えたってわからない。

この懐かしい存在は光のようなんだけど、ピカーッと光るのではない。モヤッとしているけれど懐かしくてたまらない。びっくりするほど感動しましてね、また仏壇の前などでありがとを唱えていると「ありがとう、ありがとう」が、こだまして跳ね返ってくるんですよ。気持ちがいいんだね。

## 人々の不安な心が市場や世界に及ぼす影響

**岡本** ありがとうございますに囲まれるというわけですね。

ところで、話題を変えて少し、株式市場の話をお聞かせください。株式市場というのは参加者の心象が即座に反映されるものです

よね。それを考えると、現在の市場参加者の心理をどのようにご覧になっていますか?

**竹田** みんな不安になっているよね。大恐慌という言葉がありますね。これは「大きく恐れ慌てる」という字でできている言葉です。

今から80年ぐらい前に大恐慌がありましたよね。大恐慌はみんなが恐れるから起こる。前の大戦争も投資家から発したようなところがあります。ニューヨーク株が大暴落して投資家が不安になった。その不安が拡大して金融機関にまで及んだ。その結果、事業活動もダメになり大失業時代がきた。

株が下がっているうちはバーチャルな世界だからたいしたことないけれど、失業となるとリアルな世界になり、人権問題なども関係してくる。食べていけなくなる。そして、政府がカネを出しだすと全体主義への道を歩むことになってしまう。たまたまなくなって戦争への流れができてしまう。マスコミがそれを煽<sup>あお</sup>る。

**岡本** なるほどそうですね。

**竹田** 国内であの饅頭屋<sup>まんじゅう</sup>が悪い、あのパン屋が悪いと言っているうちはまだいいが、最近、食の安全の問題で中国に非難が向かっているでしょう。中国製品を買わなくなる。反中感情が出てくる。そうすれば反日感情がでてくる。あれだけ中国に配慮していたマスコミまで、中国批判をしている。おかしいと思うよ、これ。ころっと変わるんだから。

**岡本** そういう感情の世界、バーチャルなものがだんだんリアルな世界に影響を持つようになってくる。

**竹田** マスコミがある意味、グ

ローバル化を恐れている。マスコミは自由を守るものだと言われてきたが、それは基本的に一国内の、昔は絶対君主で今は官に対する自由が対象。これがね、官にべったりになって、それも弱者に対して統制しようという動きになっている。

マスコミにとっては、グローバル化は都合が悪い。前の戦争のときは、その流れを知識階級が止められなかった。今、このような流れを止めるには、人々が経済的に自由になること。経済的に自由でなければモノがいえない。だから、インベストライフの活動も重要なんです。投資家が自由を守らなければならない。

**岡本** 本当ですね。インベストライフの存在意義ですね。官やマスコミの暴走を止めるためにも、自立した投資家がたくさん必要だということですね。

**竹田** 織田信長が命をかけて作り上げた楽市、楽座という自由市場経済。

**岡本** あれこそフリー、フェア、グローバル。当時は日本全体がグローバルだった。

**竹田** そうそう。秀吉が見事に完成したが、歳を取ると官僚化してしまった。千利休は自由都市の堺の旦那だった。その堺が奉行に乗っ取られてしまった。それに対する腹立ちが恐ろしい辞世の句に残っている。自分たちに任せてもらえば繁栄してみんな喜ぶのに、なぜ、官僚が統制しなければならないのかという怒りがあった。

関ヶ原の戦いは、官僚統制か、地方分権かの戦いだった。結局、徳川の地方分権が勝った。そして、地方文化が花咲き、太平の時代が

続いた。幕末になり産業革命の波が日本にまで及んできた。植民地化を避けるために中央集権国家の時代になった。そして、大戦争につながった。

**岡本** 人類が発生してからずっと活動範囲と意識の拡大が続いてきています。それを今、グローバル化と呼んでいるわけですが、これは逆戻りしないトレンドです。そのなかでいかに日本の文化を守り、他国の良さを認識していくかということが必要とされているのでしょね。

**竹田** 良い意味での内向きは必要でしょうね。何でも海外のものが良いのではなく、日本の文化を育てなければならぬ。

**岡本** グローバル化するほど自分の国の良さを理解する必要がある。

**竹田** 日本の良さがわかると、ほかの国の良さもわかるようになる。

**岡本** そのような美学を持った投資家をもっともっと欲しいですね。

## 理想とする個人投資家の姿とは

**竹田** 私もかつて、あまり何も考えずに大企業に投資をしていました。山一が倒産したころね。あの事件が起こって、いったい、天は自分に何のメッセージを送っているのかと考えましたね。結果として、投資家は利益だけで投資するのではなく、目覚めなければならぬと気づいた。これは株主になって相手の会社を励ませということだと思ったのです。そこで、大きい会社ではなく、小さい会社に投資をしてその会社を励ませよう、これは天命なのだと思います

たね。

それ以来、訪問してこられる投資先企業の方を励まし、配当金を受け取るたびに、「徳を配っていただいております」というメッセージを送ったりしているのです。良いところをどんどん褒めて元気になってもらう。悪いところは謙虚に考えてもらう。そんなことをしています。まだ、天との約束を果たすところまではいっていませんが。

**岡本** 一般の個人投資家は、小さい企業でもなかなか大株主にはなれない。しかし、大株主のような気持ちを持って経営者を励ますつもりで投資すればよい。

**竹田** それでね、小さい投資家は小さいなりに大事な財産でしょうから、投資先企業に手紙の一本も書く。「私はあなたの会社のこれこれの商品が好きです。それで株主になりました。どうか、良い点をもっと伸ばしてください」と手紙を書く。そうしたら経営者も変わりますよ。

**岡本** そういう手紙がたくさんくるようになったら、それはすごい勇気づけになるでしょう。経営者が励まされる。

**竹田** 気持ちが大きくなる。だいたい、失敗するのは気持ちが小さくなったときです。ますます、安定しようとして悪い方に行ってしまう。世の中の変化は必然なんだから。安定しようと思うところに間違いがある。

**岡本** 個人投資家がそのような手紙を書くと、自分自身、その企業の何が好きで株主になっているのかを考えてみる、良いきっかけになりますね。多くの人が株価だけ

を見て売り買いしている。しかし、小さくても自分なりの声を出していけたらいいですね。

**竹田** いろいろなやり方があるいいのでしょうか。みんな学びだから、子どもが転んで学んでいくようなもの。痛さがわかりますからね。

私もいろいろと投資で学ばせてもらった。皆さんも学ばせてもらえばいい。いくら説明しても、やってみなければわからない。転んでみなければ痛さはわからない。それで育っていく。だから、私は投機をしている人もそれでいいと思っています。そんなことはちゃんと天が注意してくれる。天から信号がくる。

**岡本** 投資というのは奥深いものですね。人生を考えることにもつながる。

**竹田** 株式投資というのは、幅広い投資のひとつの窓口でしかありません。たとえば、子どもを育てるのだって投資。みんな何らかの形で将来のため、未来のため、来世のために投資をしている。その一つが株式投資でしょう。

私も会社を経営してきて、常に投資の歴史でしたよ。常に土地を求め、工場を求め、設備を求め、これみんなおカネを払ってやってきた。そのときに、その土地などがいくらで売れるかなどと考えたことはなかった。こうして、こうすれば商品がこれだけできて、利益がこれぐらいになる。利益の出る過程で社員が喜び、得意さんが喜び、消費者が喜び。みんな喜んでくれて楽しい。それで投資をしてきた。それは自分に対する投資ですよ。

**岡本** そうですね。

**竹田** 自分の能力に対する投資です。しかし、健康上の問題などで自分がそれに適応できなくなったら、人に対する投資になる。従業員を信頼して仕事をしてもらう。さらにマーケットを信頼して投資先企業に仕事をしてもらう。決算資料がきちんと提出され、証券市場は比較的安全です。配当金もみんなに公平に払ってくれる。

**岡本** しかも、世界中、どこでも自分のおカネを働きに出すことができる。

**竹田** そうなんです。世界のいろいろな国の発展を助けることができる。中国の大繁栄も、世界のおカネが集まっているから可能なんです。おカネがなかったらやりようがない。おカネがあるから信用ができる。ワクワクしてきますね。

**岡本** 竹田さんは「天とワクワクありがとう」という言葉をおっしゃっていますね。人生において「ワクワク」は大切ですね。

**竹田** そうです。子どもを見てください。自分がワクワクすることばかりしているので、はちきれんばかりの生の波動がある。瞬間、瞬間、いつも感動している。これが大人になると感動が減ってくる。やはり、世の中のルールやしらがみが感動の妨げになる。

ですから、まずはワクワクできる自分を好きになることから始めてみてはどうですか？ ワクワクすると心も体も元気になってくる。

**岡本** 私は名前が和久、音読みでは「ワク」です。

**竹田** それはいい。ワクワクのワクさんだ。

**岡本** 竹田さんも私も名前に「和」という字が付きますね。わへい(和平)さんとわきゅう(和久)さん。やはり、和という字が名前についていると性格も平和的で調和的なことを好むようになるのかもしれないですね。

**竹田** あっ、はっ、は。そうですね。

**岡本** それでは最後に、インベストライフ会員へのメッセージをお願いできますか？

**竹田** むしろ、自分へのメッセージでもあるのですが、恐れを排除しましょうということかな。みんなが恐れたら大恐慌になる。大恐慌はまっぴらです。ここはみんなで励まし合って、あんまり極端なことにならないようにしたいですね。ちょっと危ないところに差し掛かっているのですね。少し業績の下方修正などがあると、極端に株価が下がったりする。配当利回りが5%あっても売られる。

**岡本** 流動性が「過剰」から「正常」に移る過程で、極端に買われていたものの価格が調整している。それが引き金になってみんなが不安になっている感じですね。

**竹田** やはり、新しい金融商品がたくさんできすぎましたね。興味もないから知らないけど。それでひとつの商品がつまずくと大きな影響が出る。

インターネットによっておカネにスピードが与えられた。それによってあたかもおカネが急に増えたような錯覚に陥った。そこでたくさんの金融商品が生まれた。おカネの額が大きくなり、人間個人の責任能力を超えてしまい、どうにもならなくなっている。これは危ない。やはり、責任能力を上げ

るためにも気概を持たないと。それに対してみんなが拍手喝采かっさいしないといけない。失敗すると、寄ってたかって、たたきのめすのではしょうがない。責任者がいなくなってしまう。

**岡本** 金持ち優遇とはいわないまでも、人の成功の足を引っ張るのはよくない。

**竹田** 格差というけれど、実感としては昭和30年代ぐらいと比べれば、今は格差がなくなっている。おカネをたくさん使える場所もなくなった。

**岡本** だから旦那が減ってしまった。旦那といっても大金持ちである必要はないんです。

**竹田** そうそう。旦那というのは要するにボランティアでしょう。小さい、大きいは別としてね。

**岡本** 個人の場合はそういう志を持った人をたくさん集めれば大きな力になる。

**竹田** 旦那をたくさん育てなければね。ずいぶん、手ごたえは感じています。しかし、世の中全体から見れば、まだ針の穴ぐらいのもの。私は、これから20年は貯徳時代とイメージづけているんですよ。その後の20年は徳の時代がくる。それで初めて日本が尊敬されるようになる。

文化、特に技の時代を作らないと個人が自立して共生するような形にならないから。技を磨いて、自分の技が評価されるようにならないとね。桃山時代はひとつの茶碗が一国に値することもありました。自分の作ったものがどれぐらい評価されるか、その気概を持ってモノ作りに励み、世界に評価してもらおう。インターネットでいく

らでも売れるのだから。

**岡本** その通りですね。

**竹田** 日本の文化を作ってきた百尊のおかげで精神世界のこともわかってきた。過去も未来もバーチャルです。今、この一瞬に立っているだけですからね。それをどう、引き渡していくか。

百尊の言葉を一言で言えば、「大和心よ、美しかれ」ということです。

そして、私自身もこのメッセージを伝達する役目がある。ですから、今年で9年目ですが、私と同じ誕生日、2月4日生まれの赤ちゃんに「君よ、美しかれ」と桐の箱に書いて金メダルを贈っているんですよ。旦那はみんな自分の誕生日と同じ日に生まれた赤ちゃんに金メダルを贈ればいい。そうすれば日本は本当にジパングになれる。

その子たちは生まれたときから、「俺は知らないおじいちゃんからこれをもらった。俺は祝福されている。生きる意味がある」ということがわかる。形になってわかる。お母さんが感激して、「この子を立派に育てます」と言って誓ってくる。金の力は強いよ。これは命の力。命には延びよう、広がろう、続けよう、つながろうという性格がある。これを物質的に表しているのが金。しかも、すべての命の源である太陽と同じ色です。これはいずれ世界に向かって訴えていきたい。

**岡本** 太陽も、金もすごいパワーがありますよね。貯徳の思想がもっと、もっと大きく広がり、日本が世界中から尊敬される国になるようにしていかなければならない。私どものインベストライフ活

動も、「輝く一番星」になることを目指しています。日本中の個人投資家が指針にできるような考え方を提示していきたい。

そのためにわれわれなりの努力を続けていきたいと思っています。竹田さんのお話を伺い、勇気と元気そしてワクワクが湧わいてきました。今日は本当に長時間、お話をありがとうございました。

\* \* \* \*

あつと言う間の2時間であった。対談のあと、竹田さん自ら百尊家宝館を案内して下さる。日本を作り上げてきた百人の偉人が円形の大きな石膏に彫られている。それを純金のメダルにして家宝としようという運動であるとか。先人たちの営々とした努力の結果、われわれが受け継がせていただいているものを大切に、そして次の世代につないでいくには純金は最適なのだろう。5ページの写真は、同館にある恵比須様の前でとった写真。「ワクワク」ですよと指を三本立ててツーショット。大きな感謝と、とても温かい気持ちで竹田本社を後にした。

そこでクラブ・インストラライフ会員の皆さんへのご提案。対談にもあった株主になっている企業の経営者を勇気づけ、励ますために手紙を書きましょう！ どんな小さな株主でも経営者がたくさんの手紙を受け取るようになれば日本が元気になります。投資信託を持っている方、投信会社の社長に手紙を書きましょう。「がんばってくれてありがとう。私たちクラブ・インストラライフ会員の志を受け止めて社会のために良いことをどんどんしてください。ありがとう、ありがとう」と。

今のマーケットにも、社会にも足りないのは「ありがとう」かもしれません。そのありがとうの波動で日本中をいっぱいにしたいものです。そんな思いを素直に、ワクワクした気持ちで竹田さんからいただきました。ありがとう、ありがとうございました。

# <モデルポートフォリオ:2021年2月末の運用状況>

単位：%

		トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率			
		1か月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)	10年 (年率)	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月 ~ 254万円
4資産型	積極型	2.90	22.07	9.92	10.05	15.09	15.55	27.66	69.32	120.91
	成長型	1.54	13.68	6.78	7.79	10.31	9.50	18.77	46.31	87.73
	安定型	0.18	5.52	3.52	5.37	6.09	3.67	9.91	25.80	56.41
2資産型	積極型	3.18	23.79	11.31	10.93	16.42	17.36	33.55	77.36	147.97
	成長型	1.73	15.58	7.88	8.68	11.85	10.84	23.45	53.09	107.22
	安定型	0.27	7.44	4.34	6.28	7.94	4.60	13.46	31.34	69.47

\* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2020年2月末に1万円投資資金を積み立て始め、2021年1月末の投資資金までとする(2021年2月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。出所:イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。Morningstar Directについてのお問い合わせは、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)まで。

## ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

4資産型		国内株式: TOPIX	外国株式: MSCI KOKUSAI	国内債券: NOMURA- BPI (総合)	外国債券: FTSE WGBI (除く日本)	
		積極型	40%	40%	10%	10%
		成長型	25%	25%	25%	25%
		安定型	10%	10%	40%	40%
2資産型		世界株式: MSCI ACWI (含む日本)		世界債券: FTSE WGBI (含む日本)		
		積極型	80%	20%		
		成長型	50%	50%		
		安定型	20%	80%		

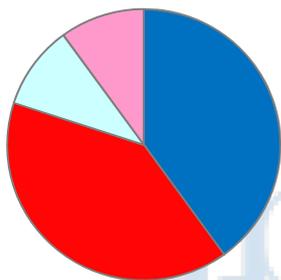
ポートフォリオは「インベストラ이프」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストラ이프』のその他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

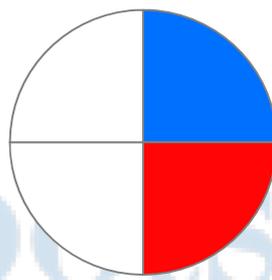
### 4資産型

- 国内株式: TOPIX
- 外国株式: MSCI KOKUSAI
- 国内債券: NOMURA-BPI (総合)
- 外国債券: FTSE WGBI (除く日本)

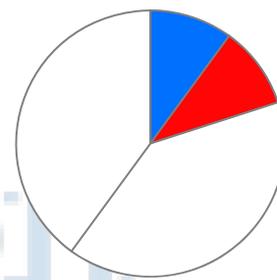
#### 積極型



#### 成長型



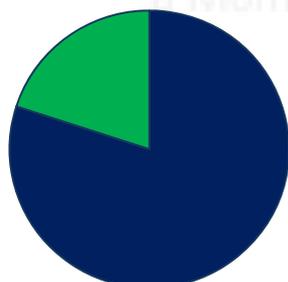
#### 安定型



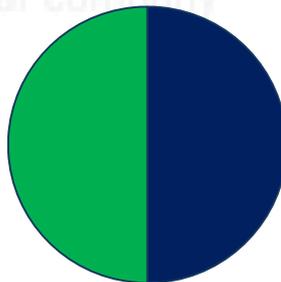
### 2資産型

- 世界株式: MSCI ACWI (含む日本)
- 世界債券: FTSE WGBI (含む日本)

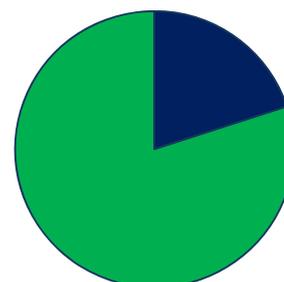
#### 積極型



#### 成長型



#### 安定型



当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ』  
その他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

## <直販系ファンド:2021年2月末の運用状況>

運用会社名	ファンド名	トータルリターン				リスク 10年 (年率)	1万円ずつ積み立てた場合の 投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の 月末資産額				2021年2月末		2020年 11月末	2021年 2月中
		1か月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)		1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月~ 254万円	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月~ 254万円	純資産 (億円)	基準価額 (円)	(前回掲載時) 基準価額 (円)	推計資金 純流入額 (億円)
さわかみ投信	さわかみファンド	-0.07	28.00	9.83	8.34	18.68	18.44	24.24	63.13	185.88	14.21	74.55	195.76	520.30	3,263.4	29,267	28,254	-39.33
セゾン投信	セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド	2.45	11.94	7.10	8.29	12.03	11.15	22.40	49.34	-	13.34	73.44	179.20	-	2,445.6	17,321	16,429	14.92
セゾン投信	セゾン 資産形成の達人ファンド	4.42	27.28	14.28	14.69	19.64	24.45	45.34	114.35	-	14.93	87.21	257.22	-	1,397.6	28,438	25,714	16.48
レオス・ キャピタルワークス	ひふみ投信	-0.88	36.72	14.32	16.32	17.89	16.25	36.36	130.59	-	13.95	81.82	276.71	-	1,392.9	59,842	59,225	2.59
鎌倉投信	結い 2101	0.24	19.88	6.78	7.76	9.94	8.58	16.20	41.81	-	13.03	69.72	170.17	-	467.3	20,951	20,703	0.50
レオス・ キャピタルワークス	ひふみワールド	3.67	41.33	-	-	-	27.12	-	-	-	15.25	-	-	-	245.9	14,301	12,899	13.58
コモンズ投信	コモンズ30ファンド	1.98	32.86	12.43	10.79	17.40	20.61	33.77	82.31	-	14.47	80.26	218.78	-	242.7	34,681	32,989	-0.38
ありがとう投信	ありがとうファンド	4.75	30.23	11.29	10.52	17.17	24.11	38.33	80.79	-	14.89	83.00	216.95	-	161.6	24,454	22,018	-0.66
クローバー・アセット	コドモ ファンド	0.84	23.63	11.70	-	-	15.77	29.90	-	-	13.89	77.94	-	-	97.5	21,360	20,288	-0.01
ユニオン投信	ユニオンファンド	4.28	22.08	9.31	7.85	17.56	22.16	26.71	54.89	-	14.66	76.03	185.87	-	91.4	29,218	26,746	0.02
コモンズ投信	ザ・2020ビジョン	-0.12	70.38	18.14	-	-	28.68	63.99	-	-	15.44	98.40	-	-	65.2	24,210	24,755	0.13
クローバー・アセット	浪花おふくろファンド	1.58	22.24	11.21	10.60	15.55	16.21	30.64	79.69	-	13.95	78.38	215.63	-	14.7	25,477	24,070	-0.01

\*積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとします。例えば1年の場合は2020年2月末に1万円で積み立てを開始し、2021年1月末投資分までの2月末における運用成果とする(2月の積み立て額は入れない)。

出所: MorningstarDirect のデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせはイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)にてお気軽にご送信ください。

Copyright ©2021 Ibbotson Associates Japan, Inc.